

音楽芸術コース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1 主科実技課題	次の(1)~(4)のいずれか1つにより受験する (1)ピアノで受験 自由曲1曲（繰り返しなしで暗譜） (2)弦・管・打楽器で受験 以下の(a)および(b)の両方を演奏する (a)「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択し、任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する（暗譜でなくてもよい）。 (b)ピアノにより、自由曲1曲を演奏する（繰り返しなし。暗譜でなくてもよい） (3)声楽で受験 以下の(a)および(b)の両方を演奏する (a)イタリア古典歌曲（原語）、または日本歌曲の中から任意の1曲（暗譜） (b)ピアノにより、自由曲1曲を演奏する（繰り返しなし。暗譜でなくてもよい） (4)電子オルガンで受験 自由曲1曲（暗譜でなくてもよい）	※(2)の弦・管・打楽器で受験する場合、(a)では受験曲の演奏には伴奏をつけない。また、演奏時間を制限することがある。 ※(3)の声楽で受験する場合、(a)は出願時に楽譜を提出すること ※(4)電子オルガンで受験する場合、使用機種は、以下の中から出願の際に選択する。 ・YAMAHA ELS-01C ・YAMAHA EL-900m ・KAWAI DT9 ・KAWAI DT7 ・Roland AT-900C ・Roland AT-80S データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。	○	○	○	○	○
2 楽典	筆記試験（60分）		○	○	○	○	○
3 ソルフエージュ課題	以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a)旋律聴音2題 (b)F.Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻）No.33~59（原書番号）の中から1曲を当日指定 (c)新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	○
4 AO面接			○				
5 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。（60分） 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		○			
6 給費生面接				○			
7 一般科目	A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験（45分） (a)英語（Ⅰ・Ⅱ）(b)国語（国語総合、国語表現Ⅰ、ただし古文・漢文を除く）(c)数学Ⅰ					○	
	B. 以下の(1)または(2)のいずれかを選択する (1)本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験（45分） (a)英語（Ⅰ・Ⅱ）(b)国語（国語総合、国語表現Ⅰ、ただし古文・漢文を除く）(c)数学Ⅰ (2)大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から1教科1科目を選択 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語	※大学入試センター試験の成績を利用する場合、「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					○

ピアノコース

電子オルガンコース

弦管打楽器コース

吹奏楽コース

声楽コース

合唱指導者コース

音楽芸術コース

デジタルミュージックコース

ポピュラー音楽コース

ハレエコース